

二、代表的史料の紹介

二、代表的史料の紹介

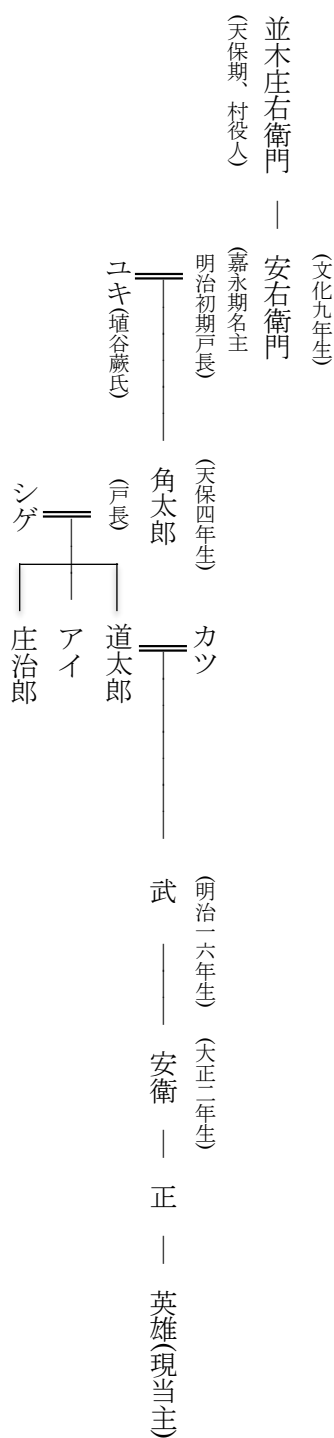
次に大量の古文書群のなかから、私見の範囲で目についた特徴的史料を一部紹介する。紹介にあたって近世、近代初期の上総国武射郡求名村と並木家のことについて触れておく。

近世の求名村については、『東金市史（史料篇）』に寛政五年と天保九年の「求名村銘細帳」（行木信正家文書）が採録されている。それによるといずれも求名村は村高五四六石、旗本四人（江原二〇〇石、三宅二〇〇石、酒井一〇〇石、村上四六石）の四給支配であり、（村高、領主は『旧高旧領取調帳』でも全く同一である）並木家は三宅給にあった。家数及び人別については寛政五年、六五軒、二七三人、天保九年、五八軒、二七五人であった。

寺院は東金本漸寺末の南高福寺と松之郷本松寺末の北高福寺の二寺であり、いずれも日蓮宗である。並木家は南高福寺の檀家であった。明治維新以後の求名村は松尾藩の支配下となり、廃藩置県以後明治四年木更津県、明治六年千葉県の支配下となった。明治二十二年の町村合併により、求名村は姫島村、家之子村、道庭村、松之郷村などと共に合併して公平村となった。

並木家歴代については、文章中に出てくる名称、役職や明治初年の戸籍（R43・8）、さらには並木家からの聞き取りにより、次のように構成した。

並木家略系譜



細目次

(1) 明治維新时期史料

(a) 維新と松尾藩、木更津県、千葉県の成立

- 史料 1 阿部邦之介御触書 慶応四(一八六八)年三月
史料 2 御触書、申諭 慶応四(一八六八)年三月
史料 3 諸用留 慶応四(一八六八)年三月
史料 4 御用留(抄) 慶応四(一八六八)年三月
史料 5 信太様方廻達之写 慶応四(一八六八)年四月
史料 6 会計方御達 慶応四(一八六八)年四月
史料 7 廻状綴 慶応四(一八六八)年
史料 8 廻状綴 慶応四(一八六八)年
史料 9 十ヶ組議定書写 慶応四(一八六八)年
史料 10 廻状 慶応四(一八六八)年閏四月
史料 11 廻状 慶応四(一八六八)年五月
史料 12 御触書 慶応四(一八六八)年六月
史料 13 柴山文平触書 慶応四(一八六八)年七月
史料 14 廻状 慶応四(一八六八)年八月
史料 15 廻状綴 慶応四(一八六八)年七月
史料 16 廻状 慶応四(一八六八)年八月
史料 17 廻状綴 慶応四(一八六八)年
史料 18 廻状綴 明治一(一八六八)年
史料 19 廻状綴 明治一(一八六八)年
史料 20 廻状留 明治一(一八六八)年十月

- 史料 21 太田備中守領分ニ付廻状 明治二(一八六九)年三月
史料 22 柴山藩職制ニ付覚
史料 23 廻状留 明治二(一八六九)年
史料 24 御用留 明治四(一八七二)年三月
史料 25 松尾県通達 明治四(一八七二)年七月
史料 26 御用留 明治四(一八七二)年七月
史料 27 松尾藩庁役人寒中見舞ニ付覚 明治四(一八七二)年十二月
史料 28 御用留 明治四(一八七二)年十二月
史料 29 木更津県布達 明治四(一八七二)年十二月
史料 30 木更津県布達 明治五(一八七三)年十月
史料 31 地租改正ニ付建白
史料 32 大区会議ニ付意見 明治七(一八七四)年一月
史料 33 育兒募金ニ付達 明治八(一八七五)年一月
史料 34 回達留 明治七(一八七四)年十月
史料 35 教導職説教巡廻ニ付達
史料 36 御用記(抄)
史料 37 御用記(第式番) 明治八(一八七五)年
(b) 維新と旗本
史料 38 旗本三宅氏願書外
史料 39 山中村 清兵衛書簡 慶応四(一八六八)年八月
史料 40 山中村 清兵衛書簡 慶応四(一八六八)年九月
史料 41 西古内村 新左衛門書簡 明治二(一八六九)年三月
史料 42 町田耕輔書簡 明治二(一八六九)年四月
史料 43 町田耕輔書簡 明治二(一八六九)年四月

史料 44 町田耕助書簡外 明治二(一八六九)年十月
史料 45 町田耕作書簡 明治七(一八七四)年四月
史料 46 町田耕作書簡

(2) 教育関係史料

(a) 関素寿の私塾経営

史料 47 製錦堂塾則 天保十五(一八四四)年
史料 48 製錦堂百箇条 天保十(一八三九)年八月
史料 49 関素寿書簡
史料 50 土屋栄司書簡
史料 51 関素寿之碑

(b) 近代的教育制度の出発、姫島小学校と求名小学校、

史料 52 姫島小学校設立二付願書 明治七(一八七四)年二月
史料 53 求名小学校独立二付願書 明治八(一八七五)年三月
史料 54 求名校独立二付伺 明治八(一八七五)年五月
史料 55 学区取締池田栄亮書簡 明治八(一八七五)年九月
史料 56 中学区取締り通知

(3) その他の特徴的史料

(a) 近世の東金地域史料

史料 57 御鷹御用二付廻状 元治一(一八六四)年
史料 58 小金野鹿狩二付廻状 嘉永一(一八四八)年十月
史料 59 小金野御鹿狩二付廻状 嘉永二(一八四九)年二月
史料 60 真忠組事件二付捨札 文久四(一八六四)年三月

(b) 旅日記

史料 61 諸用日記帳 文久二歳戌ノ六月吉日

(c) 近代相撲の功労者高砂浦五郎

史料 62 高砂浦五郎の書簡
史料 63 高砂浦五郎の書簡

(d) 遊歴の絵師森山信谷

史料 64 森山信谷の書簡